

第2回地区保全に関する代表者会議の実施について

10月24日（火）に、CS地域コーディネーター部の見守り活動と連携した第2回目の代表者会議が行われました。

今回の話し合いでは、前期を振り返り成果や課題を反省し、後期の活動につなげる目的で実施されました。成果としてあげられたのが、各地区の活動計画が順調に進められており、大きな事故などを未然に防ぐことができたこと、各地区の活動を交流することで、お互いの活動が確認できたこと、今年も夏休みの夜間の見回りが合同でできたこと等、様々な連携が図れた点です。

今後の課題点に関しては、暴風雪などによる臨休時の連絡体制の確認や、積雪による通学路の安全の確保等を、どう進めていくかが上げられていました。

臨休時の対応については、緊急用の連絡網を使って対応を進めていきたいと考えていますが、冬道の安全確保については、危険箇所を学校と各自治会とが、こまめに連絡し合い、関係機関への協力を要請する中で解決させていくことが確認されました。

また、その他の課題にあがったのが、南大通りの信号機の設置に関してと、10月4日に起きた不審者によるわいせつ行為の事件、保護者の見守り活動への更なる意識化です。信号機の設置に関しては、上江別まで南大通りが開通しないと要望が通ることが難しい状況にあり、引き続き関係機関に対して働きかけていくことが確認されました。また、不審者対応に関しては、しらかば自治会より緊張感をもってパトロール活動を、今後も強化していきたいとの報告がされました。

保護者の見守り活動への更なる意識化については、今回、一番時間をかけての論議となりました。交通安全指導日、ふくろうの日での保護者の参加強調日はあるものの、日常的な見守りに対しての関心をいかに高めて行くかが話し合いの争点となりました。具体的な解決案は出ませんでした。横断歩道があるものの、子どもたちが立っていても車は止まってくれない危険な状況もあり、地域ボランティアのサポート無しでは、歩道を渡れない現状であることや、そのボランティアの方々の高齢化が進んでおり、危機感を持って対策を進めていかなければならない状況にあること等、まずは現状について理解してもらうことから進めて行く事が確認されていきました。

お忙しい中での会議となり、大変ご迷惑をおかけしましたが、ご協力をいただく中で、地域課題の解決に向けた方向性を確認することができました。今後も、連携を図る中で、地域の安全を確保していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。



第2回 地区保全代表者会議の様子